

# 脱サラ男性 鳥栖に卓球場

## 名門クラブで指導法吸収

転勤した先々で卓球を続けてきた元サラリーマンが、鳥栖市桜町に県内唯一の本格的な民間卓球練習場「鳥栖卓球センター」を開いた。2023年の佐賀国体に選手を送り出すことを目標に、生徒たちと日々汗を流している。

(杉尾毅)

### 佐賀国体に選手目標



小学生を指導する岡本さん

経営者で指導にも当たる岡本篤郎さん(48)は、金融機関の元営業職。九州から東北まで計10都県で転勤を繰り返してきた。実家がある福岡県太宰府市に近く、本格的な卓球場がなかったこの地に昨年12月、念願の練習場を構えた。

中学1年で卓球を始めた岡本さんが一層のめり込むようになったのは、2004年、卓球の福原愛選手を描いたドキュメンタリー番組を見たことだった。

福原さん親子の奮闘ぶりに刺激を受け、当時4歳だった双子の長男と長女にラケットを握らせた。転勤先で名門クラブを探して門をたたき、宮城県にいた時は、今年1月の全日本選手権の男子個人を史上最年少で制した張本智和選手が所属する仙台ジュニアクラブで共に練習させ、指導のノウハウも吸収した。

現在、高校2年の子どもたちはそれぞれ県外の強豪校に進み、長女はインターハイや国体にも出場。子どもも所属先で指導を手伝うこともあった経験や、2人の成長する姿に「指導者になりたい」という思いを募らせ、「年齢的にも最後のチャンス」と16年7月に仕事を辞めた。

不動産店を訪ね歩き、卓球台を6台置ける程よい広さの倉庫(約250平方メートル)を見つけ、膝を守るため板敷きに改修した。また、日本体育協会の上級指導員の資格を取得。さらに、競技を体の機能回復のリハビリなどに生かすため、日本卓球療法協会の卓球療法士の資格も取った。

センターには、初心者から全国大会を目指すジュニア、健康づくりなどを目的とした一般会員ら計35人ほどが所属する。伊藤美誠選手に憧れている鳥栖小5年の福田風薫さん(11)

は、「練習すればできなかつたことができるようになるのが楽しい。伊藤選手のようになりたい」と話す。

岡本さんは「卓球は天候に関係なく、ほどよく体に負荷をかけて楽しめるスポーツ」と魅力をアピールする。佐賀県卓球協会は「これだけの規模で指導者もいる民間の卓球練習場は県内にほかにない」と、競技力の底上げを期待している。毎週月曜定休。練習コースに応じた指導料を用意している。問い合わせは岡本さん(080・1775・5803)へ。

### 玄海町予算案 69億2300万円

歳入、原発関連6割 玄海町議会は5日、開会した。2018年度一般会計当初予算案は総額69億2300万円で、歳入のうち九州電力玄海原発関連が約

### 事件

6割を占めていた。同町によると23年ぶりに地「交付団体」に度も3000万度ている。ただ、号機は再稼働が進んでおり、長は「2基が再固定資産税が同年度からはなくなる」としている。町議会の会期中、一般質問はで、一般質問は

▼道交法違反容 佐賀南署は4日、称アルバイト作業 疑者(26)を道交法 び運転など)容疑 発表によると、昨 前6時35分頃、佐 市道で、酒気を懸 用車を運転した疑 車場のフェンスな ものの、警察に報 疑い。通報を受け 署員が飲酒検知を 呼吸1検中0.25 コール分を検出。 いたため病院に搬 3日後に退院し、 なくなっていた。